**開山堂**

開山堂・開祖の堂は、高山寺の開祖明恵(1173~1232年)が晩年を過ごし、最期を迎えた禅堂院跡に建てられている。建物は室町時代(1336~1573年)に焼失し、その後、江戸時代(1603~1867年)に再建された。

開山堂には数珠をもつ明恵の木製の坐像が祀られている。この作品は明恵の没後に建立された13層の塔と禅堂院とを結ぶ通路に当初あったものである。

明恵の命日である1月19日には、ここで毎年法要が行われる。